

広報

(平成21年/2009年) No.71
3月1日号

うえだ

CONTENTS

目次

- 2 中心市街地シンポジウム
- 6 まちづくり条例検討委員会
- 8 情報びっく・あっぷ
- 10 今月の表紙/情報あ・ら・かると
- 13 うえだ見聞録
- 19 歴史探訪
- 23 キラリ☆輝くこどもたち！
- 24 屋外広告物規制地域の指定
- 25 火災予防と傾向報告
- 26 四つ葉スケッチ
- 28 四喜折々



中心市街地の活性化を考える

経済産業省主催の「中心市街地活性化シンポジウム in 上田市」が2月9日に商工会議所で開催されました。

このシンポジウムでは、まちづくり三法改正の狙いや、コンパクトでにぎわいあふれるまちづくりへ向けた取り組みのポイントなどについての基調講演と、中心市街地の現状と目指すべき姿などについてのパネルディスカッションが行われました。

全国7か所の開催のうち現在、中心市街地活性化基本計画の素案を策定している上田市が、その一つとなりました。この日は約160人の出席者があり、用意した席が足りないほど高い関心が寄せられました。

基調講演

「コンパクトでにぎわうまちづくり」

横森豊雄氏（関東学院大学経済学部教授）



全国の事例に見る 衰退のプロセス

昭和41年当時、全国各地域のにぎわいは駅を中心とした狭い範囲で、祭りでもないのに人が集まっていたものでした。

それが、郊外に広がっていきました。郊外に住宅団地ができ、ニュータウンには同世代の若い夫婦が入りました。中心市街地の車の混雑を避けるため、広い道路がバイパスとしてでき、ロードサイドには新たな商業施設が集積されていきました。これは、日本以外にはない現象です。

大型店が郊外にできることで、中心

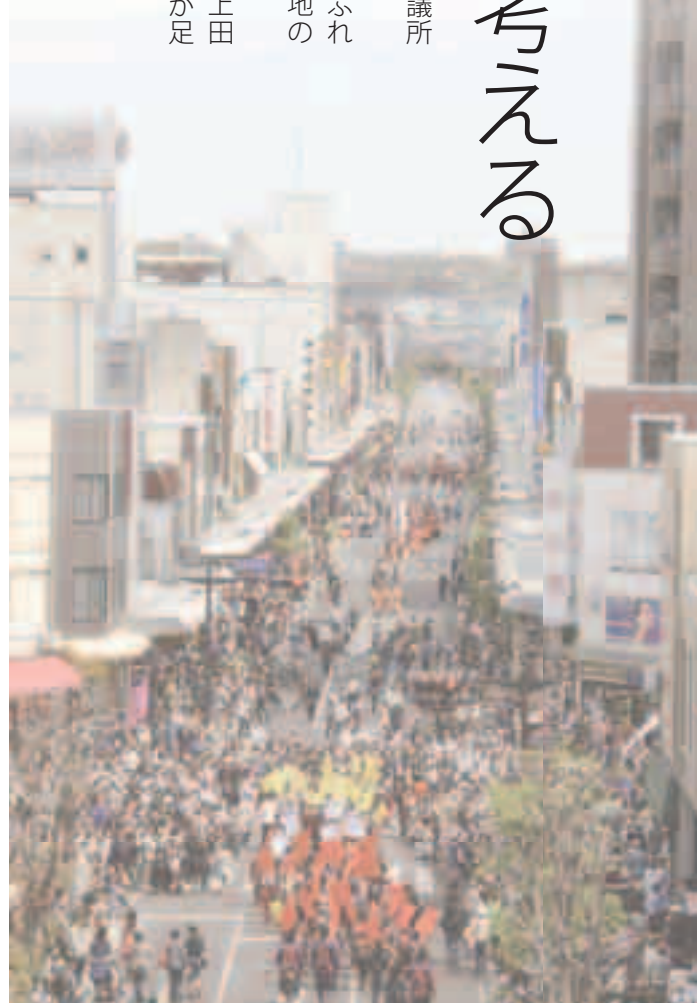


市街地の「購買力」が低下していきました。70年代には、まちなかのにぎわいの一角だった市役所や文化施設、病院、高校・大学が郊外へと移転が進み、2004年には全国で文化施設の約6割、病院は約7割、高校・大学は9割が郊外に立地しています。

徒歩や自転車で行来する高校生は、中心市街地から姿を消し、まちに来るのは主に中高年だけとなりました。

そして、ニュータウンと呼ばれた住宅団地では、かつての同世代の若夫婦がみんな、高齢化し、ニュータウンの「限界集落」化が進むのです。

また、家用車の普及に加え、中心市街地の人口減少が進んだ結果、鉄道・バスなどの公共交通の利用者が大幅に減少していきます。



コンパクトなまちづくりの必要性

ただ、中心商店街に元気がなくなっているから活性化すればいいといった対症療法ではなく、根本から解決する原因療法が必要であり、そのためにはコンパクトなまちづくりが必要となります。中心地をどこかに決め、中心地と周辺との関係を明確にすることが大切です。

コンパクトなまちづくりは、市役所、病院、図書館、文化センター、総合スーパーなどの一次都市機能の分散型構造を中心市街地集中型に変えることです。支所、診療所、郵便局、食品スーパーなどの二次都市機能は整備する必要があります。決して、郊外の切り捨てで



松尾町、原町でも、ここ数年で、予備校、専門学校、学習塾などが開校しています。中心市街地では、この日も高校入試を間近にした模擬試験があり生徒たちで混雑しました。

はありません。

ただ、これ以上の市街地の拡大を止めるということです。都市機能が拡散すると、都市経営コストも上がります。

資源を生かしたまちづくり

コンパクトなまちづくりには、時間がかかります。だから、今からやらないとできないのです。

それも、新たに何かをつくるのではなく、今ある資源を大切に使いながらやっていかないと、国も地方も経済的にやっていられません。

市は総合計画をきちんとつくり、その中に中心市街地の活性化計画を盛り込み、商店街のビジョンづくりを進める必要があります。



現状報告

上田市の現状とこれからの取り組み 上田市商工課



テーマとしています。

基本方針として、「居住満足度が高い安心安全なまち」「市民、事業者が連携した活動により地域活動の向上」「新生上田の総合的ブランド力の向上」を掲げ、中心市街地に七つの拠点を位置づけています。

上田市が現在、策定委員会ですしている中心市街地活性化基本計画の素案は、「中心市街地の現状」「活性化に関する基本方針」「活性化の目標」「具体的事業」の四つから構成されます。

活性化のテーマは「400年の歴史を超えた城下町ルネッサンス」です。真田昌幸の城下町づくりにかけた意気込みを現在の上田市のまちづくりに役立てていこうというスピリットのな

平成18年に中心市街地活性化法が改正され、熱意のある市町村を国が選択して重点的に支援をする枠組みがつくられ、これまでに、66市67地区がその国の認定を受けています。また、全国で認定に向け、130の中心市街地活性化協議会が設置されています。現段階では、中心市街地の活性化に向けて必要と思われる事業のうち実施主体などが未定のものもあり、今後、どう進めるかが課題となっています。

商工会議所は、地域の総合経済団体として中心市街地活性化に、非常に重要な役割を担っています。役目をいかに果たすかによって将来も決まってきます。

上田は商都として、栄えてきた経過があります。今まで何度もコンサルタントの指導を受けたり、基本計画や構想を作成した経過がありますが、あまり具体的な活動につながっていませんでした。問題意識を持って行動がなされてこなかったと思います。

JT跡地の商業ゾーンの素案が示され、中心市街地活性化基本計画の中に加えて検討されるなか、活性化にはこのチャンスしかないと思います。

また、民間主体の事業として、中心市街地活性化の核となる事業として捉えた「一富士跡地周辺の大手門再開発事業」は、関係者による具体的プロジェクトとして検討がされていますが、まちづくり会社としてどのようにかわり、対応するか協議しています。ストロー現象が激しい時代ですが、この地域はオリンピックを契機に、新幹線と高速道時代が訪れ恩恵を享受しています。しかし、2014年に新幹線が金沢まで延びた時に、上田駅に停車する本数が減ることも考えられます。その時にただ、停車本数を増やす運動をするのではなく、増えるための行動をすることが大切と考えます。そうでなければ空き店舗も、年々増えてしまいます。コミュニティも希薄になってきています。

地域資産は、祇園祭や七夕などのイベント、歴史的建物など、あげればきりがありません。すでに実績を上げている産学官連携事業も核になると思います。

地域資産は、
あげればきりが
ないほどあります。

田口邦勝さん

上田商工会議所専務理事



パネルディスカッション

海野町は426年前、築城とともに東御市の海野宿から商人などが移り住みつくられたまちで、原町とともに上田で一番古いまちです。

50回を超える七夕まつりをはじめ、数多くのイベントなどを企画・実行し、集客をしてきましたが、伸び悩んでいます。

海野町への来街者などにアンケート調査をした結果、海野町に期待することは、1番目に「中心市街地としてのにぎわい」、2番目は「快適な居住空間」でした。

また、どこへ買い物に行くかの問いには、食料品は「ツルヤ」、衣料品は「ジャスコ」で、「まちなかは使わない」という結果でした。それぞれの商店が、ただ商品売るのはではなく、そこにこないと楽しいことを提供する、つまり「もの」ではなく「こと」を売ることが重要と考えています。

昨年10月には、「海野町フードサミット」を開催し、採れたて野菜の販売などを行い、七夕まつりに匹敵する1万3000人の来場者があり、滞在・回遊してもらっている手ごたえを感じました。

4月の上田城千本桜まつりと連携した行事を皮切りに、「食といえは海野町」と言われるような取り組みを進めていきたいと思っています。

長野大学の古田准教授の「食と農のまちづくりネットワーク」の連携も、考えているところです。

まずは、自分たちが好きで誇れるまちにすることが、ファンを増やすことにつながると 생각합니다。

商店街の役員として活動してきましたが、町をよくするために周りの人と協働で実現することの大切さを感じています。

食といえは海野町、
と言われる
取り組みを。

古畑貴生さん

海野町商店街振興組合
「まちの再生委員会」委員長



海野町2008フードサミット



中央交差点



上田駅お城口

新上田市には、旧上田市の中心だった中心市街地のほかに、旧丸子町でも活性化基本計画をつくった中心市街地があります。しかし、国の認定を受けるためには一つに絞るしかありません。これまでの歩みは、やや遅かったと思います。ただ、それなりに事情もあったと認識しています。

これからは前進できる体制、企画が大事。市民意識も同様なことですが、何とかするには今のタイミングしかないと考えます。ただ、これを進めるのは事業者だけではダメです。リーダーの存在も必要ですし、行動しなければ始まりません。合併したことで多様な資源が生まれましたが、生かしきれいていないと思います。点から線、線から面とよくいわれますが、意識して行動しないと面になりません。

上田城千本桜まつりも、高遠を抜いて31万人の観光客が来るようになりました。「仕掛け・仕組みづくり」が大事です。中心市街地でも来る客が変わると、品ぞろえや店構えを変える必要があるのではないのでしょうか。商店も岐路にあると思います。

教育論も語れば百人百様ですが、まちづくりも同じです。別所線に対する支援も同様です。行政がやっただけでは評価や結果につながりません。今、求められるのは、地域が一体となつてもののできるかどうかです。

行政としては、都市機能を中心市街地に集積させること、まちづくりのサポート、仕掛けづくり・仕組みづくりが大切だと考えています。

今が岐路だと認識して、みんなで動くことが必要です。ステージに上がったばかりですから。



行政がやっただけでは評価や結果につながりません。

母袋創一
上田市長

中心市街地の現状と目指すべき姿

使っていなければ、
資産ではなく
死産(しさん)です。

服部年明さん
独立行政法人
中小企業基盤整備機構
まちづくりサポーター



歴史と自然に培われた文化のまちが気に入る、上田に住んで30年が経ちました。

アドバイザーとして各地の取り組みを見ていますが、要は戦略です。長野市は、市とまちづくり会社、民間が連携して矢継ぎ早に事業をして口火を切りました。市の建物で家賃を稼ぐ、働く人をまちなかに誘い込むことで、人も売り上げも伸びています。民間がやる気にならないと、行政も商工会議所も動けません。

自分は現場主義でやってきました。その店に入って、「アイデアを出しましょう、やる気を出しましょう、一歩踏み出しましょう」といいます。

全国10か所のアドバイスにかかわっていますが、上田はまだ具体的には動き出していません。ほかにも全国130の中心市街地活性化協議会ができていますが、声かけはいいけど止まっているのが実情です。

66市67地区の活性化基本計画が国の認定を受けましたけれど、受けたことで安心して、何も動かないところが多く見られます。土地を持っている、ビルを持っている、でも使っていないければ、それは「資産」ではなく「死産(しさん)」です。

上田にもビルを解体する費用のほうが、地代より高いといった事例がすでに出ています。いかに協力して、まちの資産価値を上げるか。これは地権者も、市も、共通の課題です。再開発しただけでは、空き店舗が増えることになってしまいます。

民間が立ち上がらないと、国も市も支援できないのです。皆さんも他人事ではなく、主体となつて、一歩を踏み出しましょう。

現状とこれから何をやるべきかが理解できました

親子で出席していた斉藤さんは、10歳代の出席者。自宅は丸子で、商店を経営しているそうですが、まだ後継者にといいことではないといいます。

この春、大学に進学が決まっているので事前学習ということもあり、出席したそうですが、こういう講演会に出席するのは初めてだったそうです。

「現状の理解とこれから何をやるべきか、それに今、市長がどんな気持ちなのかがわかりました。後は(家に)帰ってから資料とにらめっこします。大学に入学してから、上田を勉強していくこと、地方の再生について勉強していくことで、自分の学習に役立てるだけでなく地域に協力できればいいと思っています」。



斉藤和弘さん(上丸子)

参加者の声

まちづくりのルールを市民の手でつくるために 自治基本条例検討の取り組み

合併により新しい上田市が誕生してから3年が経ちました。

今改めて、上田市の未来に向けて、行政は何をすべきなのか、行政と市民はどこなところで協力し合ったらいいのか、そして市民はどのようにまちづくりにかかわったらいいのかを考え直す必要があるのではないだろうか。

このまちづくりのルール（通称、自治基本条例）を考える条例検討委員会は、木口博文会長のもと、現

在、分科会に分かれて具体的な内容を検討しています。今後市民の皆さんと対話をしながらルールづくりを進めていきたいと考えています。

条例検討委員会の木口博文会長と、条例検討委員会に参画いただき、上田市のまちづくりで大きな役割を担っていただいている、自治会連合会会長の田口一朗委員と上小防犯協会連合会選出の小林正幸委員に条例づくりについて伺いました。

多くの市民の皆さんの声をいかに 反映できるかがポイントに

検討委員会 会長 木口博文



いるとともに、責任の重さについても、今までにない大きなものを感じています。

私のような若輩に務まるものかと不安もあつたのですが、推し進めくださった委員の皆さんの気持ちを受け止めながら、精一杯尽力させていたきたいと

この度、このような大きな委員会の会長をさせていただくことになりまして、大変な名誉を感じて

思っています。いよいよ委員会の実質的な活動が始まるわけですが、この委員会

に課された任務としては、これからの上田市の自治・自立の基本となる条例を、市民の皆さんの目線、分かりやすく、かつ、実効性のあるものにするため、そのたたき台を創っていくことだと思っています。

それには、委員各自の知識や経験を生かした知恵はもとより、多くの市民の皆さんの声をいかに反映できるかが大きなポイントになると考えています。そこをきちんと実行していくことが私の重要な責務と思っています。

私の個人的な考えは、「法」というと規制するもの、制限するもの

というイメージが強くあつて、「できない」ことが増えていくように感じますが、この条例はそうではないと思います。

私は、この条例があることによって「できる」ことが増え、これからの上田市が様々な可能性を持つ「できるまち」になるための道標になってほしいと願っているところです。

これから長い道のりですが、微力ながら与えられた責務をしっかりと全うしてまいりたいと思いますので、皆さんのご理解、お力添えを切にお願いいたします。

活発な議論が進む条例検討委員会



市民の積極的な行政運営等への 参画と協働の視点が不可欠に

検討委員会 委員 田口一朗

平均年齢50歳を下回る委員で構成されたこの条例検討委員会は、新生上田市の明日のまちづくりを担う若者たちの活気で満ちあふれ、これからの自治の基本理念、基本原則について、話し合いを進めるためには、まさしくふさわしい組織ではないかと感じています。

それぞれ歴史ある、各地域の特色を生かしながら広がった市民の環を一体としていくため、新市と

しての自治の基本ルールを確認しておく必要があります。また、生活者である我々市民が主体となつて進めていくことが理想であると感じ



行政サイドのお仕着せではなく 住民発意のルールづくりを

検討委員会 委員 小林正幸

歴史も環境も異なる地域が一緒になつて早3年、安全で安心して暮らせるまちにするには、市民一人ひとりが、お互いを守るべきルールのもとで生きていかねばならないと思います。

地域にはそれぞれ歴史や文化の違いはあつても、市民としての共通の約束事があるべきかと思ひます。そのためには、自治の基本原則などを定める条例の検討も必要ではないかと昨年8月から市全域からメンバーが集い、検討会が発足しました。行政サイドのお仕着



せではなく、住民発意のルールづくりも必要との思いから検討を重ねております。

施行される条例が、広く市民の皆さんに浸透し、理解と協力が得られ、将来にわたって機能したか

ています。

今後、情勢のあらゆる変化にも立ち向かいながら、持続的に発展する上田市を目指していくためには、市民の積極的な行政運営への参画と協働の視点が不可欠ではないかと考えています。

40歳台という若い正副会長のもと、今後、様々な議論が進んでいくわけですが、人生の経験と上田市自治会連合会という立場で、連携、支援してまいりたいと考えております。

を見極めるためにも、条例づくりの推進役には、これからの上田を背負つて立つ若い世代に委ねることにしました。

大変難しい命題ではあります。が、新進気鋭の三人の方に代表をお引き受けいただき、基本条例検討委員会として進めています。代表の木口会長をはじめ三役は、いづれも地域における「まちづくり」に活躍されている面々であります。私ども委員も全幅の信頼をおいて支えてまいる所存です。「このまちに暮らして良かった」と言える「自信と誇り」の持てるまちにしたいと思ひます。市民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

第2回まちづくり講演会

みんなで考えようまちづくりのルール

上田市では、平成21年度を目途に市民による、市民のための上田市の自治の基本原則等を定める条例の制定を目指し、条例検討委員会を立ち上げて検討を行っています。条例の策定にあたって市民の自治意識の高揚を図るとともに、市民参加の機運を盛り上げるため講演会を開催します。今回の講演会では地域内分権の推進、コミュニティと住民自治、新たな公共の創造などを中心にお話を伺います。

日時 3月22日(日)午後1時30分～3時30分(予定)

場所 信州国際音楽村ホールこだま

講演会 演題「野球は9人でやるー協働社会を創造する自治基本条例ー」

講師 松下啓一氏(相模女子大学社会マネジメント学科教授)



シャッターマン大募集！

上田観光ボランティア

「シャッターマン」は、観光客の皆さんに声をかけ記念写真を撮る観光ボランティアです。昨年の上田城千本桜まつりでデビューした「シャッターマン」は現在16名。

観光客からの反響も大きく、「二人で旅行してもなかなか2ショットの写真も数少なく、気がねせず頼めて助かりました」など、多数の礼状もいただきました。活動する中で観光客の皆さんとの交流もあり、観光客はもとよりボランティアする側にも大きな喜びがあります。

今年も観光シーズンの到来に伴い新規メンバーを大募集します。あなたもおもてなしに参加してみませんか？

募集期限 3月22日(日)

対象 年齢・性別は問いません。

募集人数 約20名

活動日 イベントのある日。基本的には可能な日に自由に活動してください。

活動場所 上田・丸子・真田・武石の全地域の観光名所(4月は上田城千本桜まつりの行われる上田城跡公園)

応募方法 電話にてご応募ください。

その他 認定書を予定しています。

◇認定式◇

日時 3月26日(休)午前9時30分～10時

場所 市役所本庁舎3階第1応接室

内容 市長からシャッターマンの認定書進呈、活動内容の説明など

問 市観光課 TEL23・5408



市民ボランティア募集

2009上田城千本桜まつり

上田城跡公園周辺で上田城千本桜まつりにお越しの皆さんや観光客へ案内チラシの配布業務などをお手伝いいただけるボランティアを募集します。

期間 4月4日(土)～19日(日)

申込方法 電話またはメール(kanko@city.ueda.nagano.jp)で住所、氏名、年齢、電話番号を観光課へ。

締め切り 3月27日(金)

問 上田城千本桜まつりプロジェクト事務局(市観光課) TEL23・5408



稲倉棚田保全委員会が長野県知事賞を受賞 平成20年度遊休農地活用功績者表彰

2月5日、上山田文化会館で行われた「平成20年度遊休農地活用功績者表彰」で、稲倉棚田保全委員会が長野県知事賞を受賞しました。遊休農地活用功績者表彰は、平成17年度から長野県担い手育成総合支援協議会が主催し、県内各地で遊休農地の活用について顕著な功績をあげている組織を表彰しているものです。

稲倉棚田保全委員会は、豊殿地域にある稲倉棚田(日本の棚田百選認定)を中心に活動している団体です。棚田の地権者を中心に、豊殿地域の関係者が一体となって活動しており、棚田オーナー事業や農作業体験の受け入れ、はたる火まつりや案山子まつりなど、棚田を有効利用した様々な取り組みをしています。

今回の受賞について、稲倉棚田保全委員会は遊休農地の解消実績、地域の活性化への貢献及び継続性、発展性が高く評価されました。



「稲倉棚田」のオーナーを募集します

日本の棚田百選の「稲倉棚田」のオーナーを募集します。

オーナー期間 1年

料 金 ・白米コース 3万5,000円 ・玄米コース 3万円

100㎡区画で田植えと稲刈りを体験できます(白米か玄米を30kgお届け)。

申し込み 電話で農政課へ。

※詳しくは上田市ホームページ「はだしでいこう!」をご覧ください。

問 市農政課 TEL22・4100(内線1452)

上田市チーム選手選考会と練習会 県小学生駅伝大会

5月10日(日)に開催される、第5回長野県市町村対抗駅伝小学生駅伝競走大会へ出場する上田市チームの選手選考会と、選考会前の練習会を開催します。参加希望の方はぜひご参加ください。

選考会日時/場所 3月29日(日)午前9時~/真田運動公園グラウンド

練習会日時/場所 3月15日(日)午前9時~/真田運動公園グラウンド

対象者 市内在住の小学4～6年生の男女(平成21年4月1日現在)

参加方法 事前連絡などは必要ありません。当日お集まりください。

問 上田市小学生チーム(代表/宮岡) TEL090・6493・6415



お知らせ

生け垣づくり助成制度を
ご利用ください

生け垣は家の中から四季の緑を楽しめるほか、緑のある美しいまちづくりに貢献します。市では、市民の皆さんが新しく生け垣を作る場合に費用の一部を助成します。

●申請方法 生け垣工事着工前に申請書の提出が必要です。着工後は助成対象になりません。

●助成対象 道路に面し、5m以上連続する生け垣。ほかにも条件がありますので、お問い合わせください。

●助成額 生け垣を作る費用の2分の1以内(限度額5万円。ブロック塀などを撤去して生け垣を作る場合は限度額10万円)。

問 市都市計画課 TEL 23・5127

重度心身障害者の
タクシー利用料を助成

●対象 ①～⑤にすべて該当する方
①市内に住所のある方。②療育手帳A1の方、身体障害者手帳下肢または体幹機能及び視覚障害1・2級の方。③世帯全員の平成19年所得税額の合計が2万1000円以下の方。④自動車税または軽自動車税の減免を受けていない方。⑤市税に滞納がない方。

●助成額 利用1回につき迎車料金を含み880円

●利用回数 最大で年24回(4月までに申請した場合)

●申請方法 申請書類に必要事項を記入のうえ福祉課、または各地域自治センター健康福祉課へ(平成20年度受給者には申請書を送付します)

※4月からの助成を希望する方は3月27日(金)までに申請してください。

問 市福祉課 TEL 23・5158

丸 健康福祉課 TEL 42・1118

昌 健康福祉課 TEL 72・2203

武 健康福祉課 TEL 85・2067

人工透析のための
通院費を助成します

腎臓に障がいのある方に、人工透析のために通院する交通費を一部助成します。対象期間は平成20年10月～21年3月までです。

●対象 ①～③にすべて該当する方
①市内在住で、人工透析を受けている方。②片道2km以上の距離を通院している方。③市税に滞納がない方。

●申請方法 必要書類を郵送または窓口でお渡します。3月16日(月)までに福祉課または各地域自治センターへ提出してください。

問 市福祉課 TEL 23・5158

丸 健康福祉課 TEL 42・1118

今月の表紙



北向観音節分会

全国各地で豆まきが行われる2月3日の節分の日、別所温泉でも恒例の「北向観音節分会」が開かれました。赤、青、黒の3鬼を先頭に、地元の子どもたちや厄除け祈願の年男、年女が常楽寺から北向観音堂までをにぎやかに練り歩き、豆まきの会場となる境内までの道中には大勢の見物客が詰め掛けました。

毎年、多くの芸能人が参加するこの節分会。今年も九重親方や砂川啓介さん、大山のぶ代さんなどが豆まきに参加。たくさんの福豆を手にとろうと、会場は約2,000人の観光客や参拝客でにぎわいました。

再就職支援面接会

事業所の人事担当者と直接面接できます。予約や履歴書は必要ありません。ぜひご利用ください。

●日時 3月16日(月)午後1時～3時30分

●場所 上田高砂殿2階宏洋の間

●対象 在職者を除く一般求職者
問 上田職業安定協会(上田商工会議所内) TEL 22・4500

ひきこもり家族相談会

何らかの要因がきっかけで「ひきこもり」状態になり、その状態が長期間続くと、対人恐怖などの神経症状が現れることがあります。その時、家族としてどうしたらよいのかにつ

借地借家トラブル
無料司法書士相談会

借地借家のトラブルで悩んでいませんか。司法書士による無料相談会が開催されます。電話で予約をして相談窓口へお出かけください。

●日時 3月27日(金)午前10時～午後5時

●場所 上田消費生活センター

いて、専門医によるご家族を対象にした相談会を開催します。相談希望の方は事前にお申し込みください。秘密は厳守します。

●日時 相談者と医師の都合により決定

●場所 市役所を予定

●内容 精神科医による個別相談

●定員 先着3名

●参加費 無料

●申し込み 3月9日(月)以降、電話で健康推進課へ。

問 市健康推進課 TEL 23・8244

お知らせ

「ホタルマップ」の取り組みで 第1回国土交通大臣賞 「循環のみち下水道賞」を受賞

1月30日「下水道法制定50周年記念式典」で、上田市が国土交通大臣から表彰を受けました。

国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」は、国土交通省が、21世紀社会の下水道の基本コンセプトである「循環のみち」の実現に向け、模範的、先進的な取り組みを行っている地方公共団体やNPO、市民団体などを表彰し、広く普及させることを目的として創設されました。

今回の上田市の受賞は、下水道の普及と河川水質の経年変化をわかりやすくまとめたこと、市民の皆さんから寄せられた、きれいな水辺の象徴である「ホタル」の発生情報などをホタル保護・育成組織や小中学校と行政が協働してマップを作成し、これを下水道のPRに利用し、さらに将来への可能性を示せたことが受賞につながりました。

詳細は、上田市ホームページ(下水道課)または、上下水道局広報誌第10号(3月16日発行)をご覧ください。

問 市 下水道課 TEL23・5128



式典当日は、母袋市長が「循環のみち下水道賞」受賞者を代表してあいさつしました。

自動車保険でお困りの方 お気軽にご相談ください

長野自動車保険請求相談センターでは、自動車保険や自賠責保険の請求に関する相談や苦情を無料で受け

●申し込み 3月16日(月)以降に電話で受け付けます。
問 上田消費生活センター
TEL 27・8517

付けています。専門の相談員が応じていますので、交通事故に関する損害保険のことでお困りの方はどうぞご利用ください。

●相談日 毎週月・金曜日(祝日を除く)の午前9時～正午及び午後1時～5時

●場所 長野市南千歳1-15-3 (TSビル3階)

●弁護士相談日 毎月第2・4木曜日の午後1時～4時(予約制)

不動産評価などの 無料相談会

売買、交換、相続、借地、担保、賃貸借などにかかる不動産評価に関

●申し込み 事前に電話で連絡してからお越しください。
問 (社)日本損害保険協会長野自動車保険請求相談センター
TEL 026・226・3582

ライブラリーと交付機の 証明書の発行を休止

次の場所で、住民票及び印鑑登録証明書の発行をシステム点検のため休止します。ご迷惑をおかけします。ご了承ください。

●期日 3月14日(土)・15日(日)の終日

●場所 上田情報ライブラリー及び自動交付機(市役所本庁舎、丸子地域自治センター、上田創造館)

問 市 市民課
丸 市民生活課
上田情報ライブラリー

市 情報推進課

TEL 23・8241
TEL 29・0210

●場所 上田商工会議所4階第1会議室

問 (社)長野県不動産鑑定士協会
TEL 026・225・5228

する事項について、不動産鑑定士がお答えします(申し込み不要)。

●日時 4月1日(水)午前10時～午後4時

お知らせ

明るい選挙啓発標語の
審査結果発表

市民の皆さんの政治意識の向上や、選挙への関心を高めていただくことを目的に、明るい選挙啓発標語を募集したところ、94点の応募があり、審査の結果、優秀賞2点と佳作6点が決まりました。

この入賞作品は今後の選挙啓発に活用します(敬称略)。

【優秀賞】

政治への 願いをのせて その1票
篠原章太 丸子北小学校 6年

たくさんの 願いをこめて この1票
電野 蘭 丸子北小学校 6年

そのほかの入賞作品は、上田市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

☎ 上田市選挙管理委員会 TEL23・5438

信州に泊まろう！
県民宿泊キャンペーン

県民の皆さんに県内の宿泊施設を利用していただく「信州に泊まろう！県民宿泊キャンペーン」を実施しています。7月20日までの期間中、宿泊利用回数に応じて、県内の宿泊施設に宿泊した長野県民の中から1000名の方に、抽選で宿泊補助券や県産品をプレゼントします。

また、宿泊施設や旅行会社において、お得な宿泊プランを用意しているところもあります。詳しくは、長野県公式観光サイト(<http://www.nagano-tabinet.jp>)をご覧ください。

☎ 信州・長野県観光協会

TEL 026・234・7219

県庁観光振興課

TEL 026・235・7254

催し

丸子公民館作品展
みんな発展途上展

今年度開講した、各教室の作品展及び発表会「丸子公民館カルチャースクール作品展・みんな発展途上展」を開催します。信州国際音楽村との交流作品展や発表会も、同時に開催します。

●日時 3月13日(金)～15日(日)午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)

●場所 展示／丸子文化会館大会議室・展示室、発表会／丸子文化会館セレスホールホワイエ

●内容

・展示／手作りパン入門(14日(土)午前10時～パン作りの実演)、写す

楽しみ写真、徒然草を読む、絵画入門、クロスアップマジック。
・発表会／パドル体操、クロスアップマジック、コカリナフラ
ワーズほか(15日(日)午前10時30分～11時30分の予定)。

●その他 発表会の会場で、パドル体操の体験ができます。動きやすい服装でお出かけください。

☎ 丸子公民館 TEL 42・3147

わがまち魅力アップ事業
丸子報告会を開催

平成20年度に丸子地域の団体が補助を受け実施した、上田市わがまち魅力アップ応援事業の実績報告会を開催します。どなたでも参加できます。

●日時 3月17日(火)午後6時30分～(おおむね2時間)

●場所 丸子文化会館小ホール

●内容 事例発表

●入場料 無料

☎ 地域振興課 TEL 42・1041

信州国際音楽村
すいせん祭り'09

早春の風物詩として、毎年開催しているお祭りです。期間中は土日曜日を中心に随時イベントも開催。すいせんの鑑賞、園内散策をお楽しみください。10万本の黄色いすいせんが皆さんをお待ちしています。

●期間 3月28日(土)～4月19日(日)

※開催期間はすいせんの開花状況により変更することがあります。

●開園時間 午前10時～午後4時

●場所 信州国際音楽村すいせん畑

●入場料 無料

☎ 信州国際音楽村

TEL 42・3436

野平一郎
ピアノリサイタル

作曲家として世界的に活動され、モーツァルト・ピアノソナタ集のレコーディングなど、ピアニストとして精力的に活躍中の野平一郎さんをお迎えし、「野平一郎がひも解くピアノの歴史」バツハから現代まで」



龍洞院本堂
 祢津線林之郷バス停から南へ車で5分。上青木公民館向かい。
 近くに神川第二保育園があります。

うえだ見聞録

近代国家の創設に身命をささげた幕末の志士、佐久間象山や赤松小三郎らの師である活門禅師は45歳の時に龍洞院(上青木)の住職として迎えられました。活門が約6年を過ごした龍洞院には、書や自作木像、それから自身の葬儀のやり方を指示した書付などが残っています。

その後、活門は



岩門大日堂跡
 祢津線岩門バス停南側
 岩門消防庫(火の見櫓)付近

岩門の大日堂に移ります。ここは、弟子入りした佐久間象山が、初めて活門と顔を合わせた場所です。この時17歳だった象山は、30km余りの道のりを、松代から馬に乗って勉強に通いました。庭には象山が馬をつないだとされる松(二代目)があり、当時がしのべれます。

常田の毘沙門堂は活門が最後に移った場所です。お堂の脇



常田毘沙門堂
 信濃大宮社の西側・道路沿いに約100m

に多聞庵という寺子屋を開いた活門は、だれにでも親切に、ていねいに教え、1000人を超える人が教えを受けたいと殺到したそうです。大勢の人に慕われた活門は、71歳の時に毘沙門堂で亡くなりました。

問 市文化振興課 TEL 23・6361

活門禅師遺跡(龍洞院・岩門大日堂・常田毘沙門堂)

を開催します。特に、音楽を学ばれている若い方々に、ぜひお聞きいただきたいコンサートです。

●日時 3月20日(金・祝)午後2時開演(午後1時30分開場)

●場所 信州国際音楽村ホールこだま

●プログラム バッハ「平均律クラヴィーア曲集第1巻」より「第1番ハ長調」、ベートーヴェンピアノソナタ嬰ハ短調「月光」ほか。

●入場料 一般3000円、高校生以下1000円

※託児サービス(要予約)や送迎サービスもあります。

問

(財)信州国際音楽村
 TEL 42・3436



里やま体験 ボランティア募集

公園緑地課では今年度、市街地の貴重な緑である「染屋台グリーンベルト」で「里やま体験ボランティア講座」を行ってきました。今回は最終回として、一般からも広くボランティアを募集します。当日は森林インストラクターの指導で、実際に下草刈り、枝打ち、除間伐などを体験した後、森の中の散策道を歩いて1年間の成果を確認します。自然の中で、心地よい汗を流してみませんか。

●日時 3月15日(日)午前9時～午後1時30分ごろ

●場所 染屋台グリーンベルト内・材木町

●持ち物 昼食。作業のできる服装。ヘルメット、ナタ、カマなどをお持ちの方はご持参ください。

●参加費 大人2000円、子ども1000円(保険料として当日徴収)申し込み 3月11日(木)までに電話で公園緑地課へ。

問 市公園緑地課 TEL 23・5134

特別展「昭和の子ども」

●期日 2月28日(土)～3月22日(日)
(毎週月曜日休館)

●開館時間 午前8時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで、最終日は午後4時まで)

●場所 丸子郷土博物館

●展示内容 昭和の時代(20～30年代中心)の子どもの暮らしにかかわる写真、童画、玩具、生活用品、青い目の人形など

●入館料 一般(高校生以上)100円、中学生以下・障がいのある方は無料

●丸子郷土博物館
TEL 42・2158

第8回弥生ウォーキング参加者募集

●日時 3月22日(日)午前8時30分より受付、スタートは午前9時

●集合場所 武石体育館駐車場(武石小学校裏武石川沿い)

●コース 美ヶ原方面へ散策しながら福寿草群生地を見るコース(12km)

●参加費 小中学生、ウォーキング協会員500円、一般1000円

●持ち物 昼食、飲み物、雨具、帽子、タオル、防寒着など。

●申し込み 上田ウォーキング協会事務局(上田スター商会内/TEL

35・0246)当日受付可能

●その他 天候により中止になる場合があります。

●健康推進課 TEL 28・7123



図書館を使った「調べる」学習賞コンクール作品展

「第10回図書館を使った「調べる」学習賞コンクール」で、入賞した作品の複製を展示します。小学生から大人まで図書館を使って楽しく調べた作品です(入場無料)。

●日時 3月19日(木)～23日(月)午前10時～午後4時

●場所 上田情報ライブラリーことばの繭ホール

●上田情報ライブラリー
TEL 29・0210

絵本大好きっ子あつまれ!

読みの会「稲穂」の皆さんによる、楽しいお話の会を開催します。

●日時 3月21日(土)午後1時30分～2時30分

●場所 上田情報ライブラリーセミナールーム

●内容 「はるのおとはザワザワ」、「きょうはみんなでクマがりだ」

「ねずみのよめいり」などの絵本の読み聞かせ

●対象 幼児・児童とその保護者

●申し込み 不要(参加費無料)

●上田情報ライブラリー
TEL 29・0210

うえだ環境市民会議環境講演会

●日時 3月14日(土)午後1時30分～4時ごろ

●場所 中央公民館3階大会議室

●内容 環境講演会/演題「環境にやさしくくらし・私達に出来ることー千曲市のとりくみー」、講師/笠井雪子氏(千曲市レジ袋・食品トレイ減らし隊代表)、活動発表。

●対象 環境に興味のある方ならどんなでも。

●生活環境課 TEL 23・5120

アコースティックギターコンサート

アコースティックギターリスト稲山貴旭さんのコンサートを開催します(入館料必要)。

●日時 3月4日(水)午後4時～(2回公演)

●場所 ふれあいさなだ館ロビー特設ステージ

●真田温泉ふれあいさなだ館
TEL 72・2500

<広告欄>

《スポーツクラブアクトス》健康づくり応援キャンペーン実施中!

ペアーでお得なお試し体験会実施中!

体験情報 ペアーで1週間体験フィットネス
体験料金 2,100円 お一人様1,050円で1週間利用OK!

ご体験者入会特典 クラブ入会金 通常21,000円 → 0円 室内用シューズウェア等ご持参下さい。



スポーツクラブアクトス 上田 Tel.0268-36-1711

〒386-0153 長野県上田市若下235 営業時間/月曜～土曜・祝・祭日 10:00～23:00 日曜/10:00～18:00 休館日/毎週木曜日・盆休み・正月休み

スイミングスクール情報

スイミング入会金 通常5,250円 → 525円

只今スイミングスクール 毎週日曜日11:00～1回525円 (各日程定員5名)
1日体験受付中! 体験後のご入会にて体験料金キャッシュバック!

春の3日間 短期水泳教室 大募集!

3/23(月)・24(火)・25(水) 9:30～11:00 料金5,775円 定員40名

ご予約、お問い合わせはお気軽にお電話ください。



お知らせ

「臨時窓口」を開設します

3・4月は引越しや転勤などにより様々な手続きが必要になります。月～金曜日の夜や土・日曜日にも便利に手続きができる「臨時窓口」を開設します。どうぞご利用ください。

手 続 き の 内 容	持 ち 物	窓 口
異動届・死亡届・出生届・婚姻届などの受理、印鑑登録、外国人登録、住民票の写し・戸籍謄抄本など諸証明の交付、葬祭費・出産育児一時金の支給申請、国民健康保険証の交付、児童手当の認定請求	印鑑、預金通帳、国民健康保険証・介護保険被保険者証、市民カードまたは印鑑登録証、住基カード、市民証など ・児童手当認定請求の場合は健康保険証 ・免許証など本人を証明する書類	市民課(本庁舎1階) 市民生活課(丸子地域自治センター)
学校の指定に関する手続き(転校など)	印鑑	
納税証明・納税相談・税金の納付(国民健康保険税を含む)	印鑑	収納管理課(本庁舎1階) 市民生活課(丸子地域自治センター)
国民年金に関する届出 国民健康保険に関する届出 長寿(後期高齢者)医療保険に関する届出	印鑑、年金手帳(基礎年金番号通知書)、年金証書、国民健康保険証、後期高齢者医療保険証、社会保険資格取得・喪失証明書	国保年金課(本庁舎1階) 市民生活課(丸子地域自治センター)
市営水道(塩田・川西地区の一部を除く)の開栓・閉栓に関する手続き、上下水道料金納付・口座振替手続き ※県営水道(塩田・川西地区の一部)に関する手続きは、(株)ジェネッツ(TEL29・0810)へお問い合わせください。	・開閉栓手続き／印鑑・開栓は手数料1,000円(閉栓手続きは電話で可) ・口座振替手続き／印鑑、預金通帳(郵便局可)	サービス課(北庁舎1階) 上下水道課(丸子地域自治センター)

場 所	市役所本庁舎・北庁舎	丸子地域自治センター
実施期間	3月23日(月)～4月5日(日)	3月28日(土)・29日(日) 4月4日(土)・5日(日)
実施時間	月～金曜日 午前8時30分～午後7時 土・日曜日 午前8時30分～午後5時30分	午前8時30分～午後5時30分
担当課 (問い合わせ)	市 市民課 TEL23・5334 市 学校教育課 TEL23・5101 市 収納管理課 TEL23・5117 市 国保年金課 TEL23・5118 市 サービス課 TEL23・1313	丸 市民生活課 市民係 TEL42・1052、42・1053 丸 税務・収納担当 TEL42・1028、42・1029 丸 上下水道課 業務担当 TEL42・1055、42・1128

<広告欄>



あおやぎ眼科

眼科各種手術 ●入院設備あります ●駐車場30台
(白内障・緑内障・網膜剥離術・硝子体切除術・眼瞼内反症・眼瞼下垂症 等)

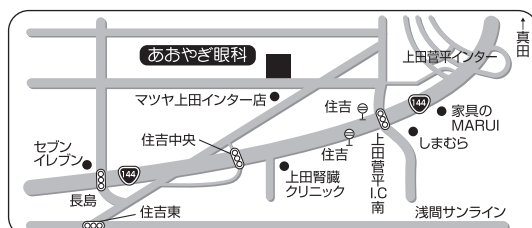
〒386-0002 上田市住吉577
(マツヤ上田インター店前)

TEL.0268(28)6688

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～12:00	×	○	○	○	○	○
午後2:30～5:00	○	手術	○	手術	手術	×

休 診 日

日曜・祝日・月曜午前・土曜午後
火曜午後(手術)・木曜午後(手術)
金曜午後(手術)



やすらぎセミナー 精神保健福祉講演会

●日時 3月7日(土)午後1時30分～

●場所 上田文化会館ホール

●講演 「地域中心の精神保健福祉
― 地域の中でいきいきと暮らすた
めに―」

●講師 伊藤順一郎氏(国立精神・
神経センター精神保健研究所社会
復帰相談部部長)

●対象 どなたでも

●参加費 無料

※駐車場が少ないため、公共交通機
関をご利用ください。

●地域活動支援センターやすらぎ
TEL 25・2000

景観ウォッチング ― 蛭沢川の魅力を知る ―

上田市街地の中には川がたくさん
流れていますが、注意して見るこ
とはありますか。今回は町の中心部を
流れる蛭沢川沿いを中心に、まちな
かの川の魅力とその生かし方を考え
ます。

●日時 3月14日(土)午前9時30分～
午後0時30分(小雨決行)

●集合場所 中央公民館正面玄関前

●内容 柳町、土橋、なつめ河岸ほ
か蛭沢川とその支流をたどり、土
蔵や石垣、水辺のある小路など川
の景観をウォッチング。

●参加費 無料

●申し込み 3月13日(金)までに、住
所、氏名、人数、電話番号を電話
で都市計画課へ(当日参加も可)。

●都市計画課 TEL 23・5127

丸子金子図書館 本のリサイクル市

●日時 3月14日(土)午後1時～4
時、同月15日(日)午前10時～午後3
時

●場所 丸子金子図書館2階

●内容 図書館で除籍になった本を
希望者に無料で提供します。

●丸子金子図書館
TEL 42・2414

ふるさと新発見ツアー 参加者募集

●日時 3月24日(火)午前8時～午後
5時(予定)

●コース ともしび博物館、福寿草
まつり、うつくしの湯ほか

●募集人数 80名(応募者多数の場
合は抽選。小中学生参加可、ただ
し要保護者同伴)

●参加費 大人一人10000円(各
体験料、入館料、昼食代込)

●持ち物 雨具、動きやすい服装。

●申し込み 3月11日(水)までに参加
者全員の氏名、住所、年齢、電話
番号、乗降場所(5か所から選択
できます)を、電話(22・6353)、
FAX(22・6201)、メール

(weekly-neda@po3.nedane.jp)、
はがき(〒386-00012中央
6-3-41)のいずれかで、ふる
さと新発見ツアー事業受付窓口
(週刊上田新聞社内)へ。

●上田地域広域連合企画課
TEL 43・8818

さくら国際高校公開講座 木下晴弘氏講演会

子どもたちとかわるすべての人
に感動、生きる喜びを贈ります。こ
の日はエネルギーが満タンになる体
験をしてください。魂を揺さぶる熱
いメッセージを聞いてみませんか。

●日時 3月14日(土)午後1時30分開
演(0時30分受付)

●場所 さくら国際高等学校体育館

●定員 200名

●参加費 無料

●持ち物 上履き

●申し込み 参加される方全員の氏
名、住所、連絡先を電話またはF
AX(38・8718)で。

※校庭西工事中のため駐車場に限り
があります。公共交通機関をご利
用ください。

別所線の、上り(別所温泉方面よ
り)舞田駅着午後0時34分、下り

(上田駅方面より)舞田駅着午後0
時11分、0時50分でお越しの方は、
学校まで送迎あり。

●さくら国際高等学校
TEL 39・7707

<広告欄>

信州の四季を快適に暮らすパッシブソーラー
OMソーラーの家・エアサイクルの家
自然の温もりをご体感ください!!



開館日 土曜日・日曜日
am10:00～pm5:00
平日にお越しの方は、
0268-27-6667 までご連絡ください。

美し信州建設株式会社
ホームページリニューアル!
<http://www.sinshuu.co.jp>

お知らせ

平成20年度「明るい家庭・家庭の日の作文」審査結果

心身ともに健やかでたくましい人づくりの基は、愛情と思いやりの心に満ちた明るい家庭にあると言われています。上田市でもこのような家庭づくりを推進するため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、その普及・定着に努めています。その一環として「明るい家庭・家庭の日」にかかわる作文の募集を行ったところ、市内小中学生から202点の作品が寄せられました。

受賞者は、次とおりです(敬称略)。

<優秀賞>

林杏優、保科涼、寺島智佳、白石真由子(以上本原小)、大塚彩里愛(中塩田小)、塩田千夏(三中)、久世世梓枝(丸子中)

<優良賞>

香山郁海、田中柚衣、坂口歌葉(以上本原小)、徳武咲帆、中村聖子、栗木大輔(以上丸子中央小)、西澤実知(東小)、城田明奈(川辺小)、吉池紗裕美(豊殿小)、田中生、杉村采蘭(以上四中)、大塚愛美花(塩田中)、山崎葵(三中)

問 市生涯学習課 TEL23・6370



「あいさつの大切さ」

中塩田小学校 4年 大塚 彩里愛

「こんにちは！」

「あー、おかえりー。花もって行くかい？」

畑の中からおばあちゃんが、学校帰りの私とお姉ちゃんに声をかけてくれます。

「いいのー？ありがとう。」

おばあちゃんは、畑にさいている赤や黄色のお花をかかえきれないほどたくさんとってきて、

「二人でもっていきー。」

と言ってニコニコわたしてくれます。こうやって私達にいつも声をかけてくれて、親切にしてくれるおばあちゃんがありますが、このおばあちゃんは私のおばあちゃんではありません。

私のお父さんとお母さんは、ここの地区の出身ではありません。だから私のおじいちゃんとおばあちゃんは、遠くに住んでいます。

だから、私はお母さんによく言われている事があります。

それは、

「地区のみなさんに、自分からあいさつをして顔をおぼえてもらいなさい。」

という事です。最初は、あいさつするのがはずかしかったけど、お父さんはいつも私達家族にも、外でいろんな人に会っても、大きな声であいさつしていて、すごいなあと思うし、お姉ちゃんは学校帰りに、会った地区の人みんなにニコニコあいさつしていて、えらいと思うから、私もまねをして大きな声で

「こんにちは。」

と言ってみたら、

「暑いけどがんばりー。」

と返してくれました。私はなんだかとってもいい気分になりました。帰ってからお母さんにその事を話したら、「よかったねえ。あいさつは、言われた人も言った人も、いい気持ちになっていいよね。」と言ってニコニコしていました。なんだか私もニコニコになりました。

私は、お父さんとお母さんに教えてもらった「自分からあいさつする事」という事をこれからも続けていきたいと思います。

(原文のとおり掲載しています)。

<広告欄>

小柳産業(株)

部屋ごと 家ごと 倉庫ごと 引っ越し 転勤

まるごと片付け

◎格安料金にて処理いたします

上田市材木町：22-5353
上田市東内：43-0053

すぐ相談
ことなら
ごみの

創造館イベント

◆企画展「甲田洋二の世界」

武蔵野美術大学・学長で、上田市五加出身の甲田洋二さんの企画展です。

●日時 3月15日(日)～24日(火)午前9時～午後5時(最終日午後3時)

●場所 上田創造館2階美術館(第1会場)、コミュニティ大ホール(第2会場)

●入場料 無料

●オープンニングイベント／ギャラリートーク

●日時 3月15日(日)午後2時～3時30分

●内容／植草学氏(信濃毎日新聞社記者)との対談

◆原点回帰・子どもたちの表現と現代アート展

今年度、当館主催「子ども天才講座」に参加した子どもたちの作品と、スタッフ陣の作品展です。

●日時 3月15日(日)～20日(金)午前9時～午後5時(最終日午後4時)

●場所 上田創造館1階文化ホール

●入場料 無料

◆伝承あそび広場／ジグソーパズルに挑戦！

●日時 3月15日(日)午後1時30分～



3時30分

●場所 上田創造館第4・5研修室(1階)

◆春休み親子映画祭／崖の上のポニョ

昨年の大ヒットした、宮崎駿監督作品の上映会です。

●日時 3月26日(木)・27日(金)の午前10時～、午後0時30分～、3時～、27日のみ7時～(開場各回30分前、各回入れ替え、全席自由)

●場所 上田創造館文化ホール

●入場料 一人1000円(5歳以上)

●問 上田創造館 TEL23・1111

催し

小児の医療を守る
講演会・シンポジウム

お子さんの具合が急に悪くなった時、どうしますか。

お子さんが急な病気やけがをした時、あわてることなく落ち着いて行動するためには、日ごろから応急手当の知識を身につけ、相談できるかかりつけ医を持つことが大切です。

安心して子育てしていくために、「子どもの急な病気・けが困ったときのガイドブック」を作成しました。このガイドブックの活用方法と、子どもが急病の時の対応について、小児科の医師や子育て中のお母さん方に、それぞれの立場から日ごろ感じていることをお話していただきます。ご参加ください。当日の参加者にはガイドブックを差し上げます。

●日時 3月28日(土)午後1時30分～3時30分(午後1時開場)

●場所 中央公民館大会議室

●内容 「小児の救急医療」をテーマとした講演会及びシンポジウム

●講師及びパネラー

遠山^{かん}歙氏(長野病院小児科医長)、塚原正典氏(小県医師会会長、塚原医院院長)、杉山裕氏(上田市医師会、杉山クリニック院長)、合葉雅彦氏(上田薬剤師会専務理事)、柄澤^{まさたけ}真代氏(市民代表)

●託児 3歳未満の乳幼児対象、先着30名まで。希望者は電話で健康推進課へ申し込んでください。

●問 市健康推進課 TEL28・7124

<広告欄>

医療法人三折堂

宮下 医院

神経内科・内科・胃腸内科

〒386-0023 長野県上田市中央西1-15-12

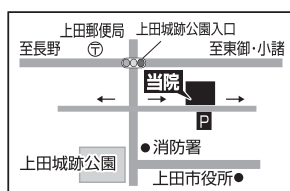
TEL 0268(22)4328 FAX (26)8231

- 理事長/宮下美生 消化器病専門医(日本消化器病学会認定)
- 院長/宮下暢夫 神経内科専門医(日本神経学会認定)

診療時間 午前 9:00～12:00

午後 3:00～6:00

休診日 土曜午後・日曜・祝日



神経内科

※初診の方はなるべく予約をおすすめします。

頭痛・めまい・しびれ・ふるえ・歩行障害・認知症などを来たす脳神経系の病気を診断し、内科的に治療する科です。

主要設備

オープン型MRI、超音波検査装置(腹部一般、頸動脈エコー)、胃・大腸内視鏡、レントゲン、筋電図検査装置等

歴史探訪

明日をひらいた上田の人々

信州丸子の製糸業起業家

しもむら 下村 かめさぶろう 亀三郎 (1867~1913)



に入学しました。

塾長の福沢諭吉を心酔敬慕していた亀三郎は、勉学半ばで病に伏しながらも、塾長の日曜演説会は聴講していました。しかし、病気がひどくなり帰郷することになりました。亀三郎に福沢は「君は教員志望の初志を捨て、信州の地に適した産業を興し先駆者となれ。信州は全国的に見て養蚕業の盛んな所、また、製糸業の先進地である。よく研究して製糸業などに注目せよ。日本の国はこれから海外貿易を盛んにしなければならない時運に向かっているのだ」と熱意をこめて諭したといひます。

帰郷後、事業家に転進する決意を持ち、零細製糸家を集め、丸子に組合器械製糸結社依田社を起こしました。依田社は幾多の苦境を

下村亀三郎は、慶応3年、上丸子村(現上田市上丸子)に生まれました。亀三郎は丸子小学校の柴崎虎五郎校長の支援を得て上京し、明治18年に正規教員を目指して慶應義塾

乗り越えながらも発展。生糸の品質に徹底的にこだわりの、生糸検査部を充実させたことから、明治の末頃には横浜市場で「依田杜格」と呼ばれたほど優良生糸生産者としての評価を確立し、売込商・外国商館を通さずにアメリカへ直輸出が可能となりました。

また、亀三郎は丸子町の初代町長も務め、大屋―丸子間の鉄道敷設の発起人として尽力するなど、地域の発展に努めました。

世界的な視野や郷土発展に比類なき熱意を持ち、天与の統率力・指導力を発揮した亀三郎は、大正2年に47歳の若さで急逝しました。現在、慶應義塾創立150周年を記念した、福沢諭吉展が開催されており、この中に下村亀三郎に関する展示コーナーが設けられています(3月8日/国立博物館、5月9日/6月14日/福岡市美術館、8月4日/9月6日/大阪市立美術館)。

上田市丸子地域は、現在でも市内有数の工業集積地ですが、その礎は一重に下村亀三郎が築いたものといえましょう。

問 市文化振興課 TEL 23・6361

講座・教室

春休み工場見学会

親子でものづくりの現場を見て地元企業を身近に感じ、ものづくりへの関心を高めたり、就職やUターンなどに役立てていただくため、地元製造業4社と協力して工場見学会を

開催します。

●期日/会社名

・3月19日(木)/日置電機(株)

・3月24日(火)/信州富士電機(株)

・3月26日(木)/松山(株)

・3月27日(金)/ホクト(株)

●対象 ①小学3年/中学生(午前の部)、②高校生、大学生(午後の部)

●内容 会社の説明、工場見学、質

疑応答。

●定員 各企業先着16/30名(①は必ず保護者同伴、②は保護者同伴可)

●参加費 無料

●申し込み 商工課、または上田市ホームページに掲載の応募用紙を3月9日(月)~17日(火)の間に商工課へ。

問 市商工課 TEL 23・5396

<広告欄>

上田市民の5.9人(件)に1人が加入しています!

掛金はお加入者のために使っています

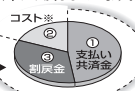
営利を目的としない助けあいの制度

- ① 共済金を真つ先に 何よりも共済金。お支払いを最優先にしています。
- ② コストは抑えて 経費を必要最小限にするため、低コストの運営に徹しています。
- ③ 剰余金は割り戻し 剰余金は割戻金としてご加入者へ公平にお戻ししています。

昨年度もムダなく健全に!

平成19年度も、掛金の8割強が共済金と割戻金に当てられました。

掛金還元率...82.08% この部分がご加入者へ還元されます



長野県民共済

共済取扱団体/長野県認可 長野県民共済生活協同組合 共済元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会 <http://www.kyosai-cc.or.jp/>

[上田] ☎0268-24-3985(代) 〒386-1104 上田市福田下田9-33 FAX 0268-24-3902

SBCラジオ 県民共済提携YES! 聞いているほど! 毎週日曜日18:05~(約5分間)放送

口座振替取扱金融機関 八十二銀行 ゆうちょ銀行

※掛金の口座振替については本会金融機関から「お支払い」方法を選択ください。※今後は銀行の窓口ではお申し込みいただけません。

資料請求はホームページからどうぞ。

長野県民共済 検索 www.nagano-kyosai.or.jp/

携帯から http://kyo-sai.jp/nagano/ 携帯サイトのバーコード



有料広告掲載のお問い合わせは、上田市秘書課 (☎ 23・5149) または有限会社トミー企画 (☎ 23・1706) へ。

21年度山本鼎記念館 美術教室受講生募集

山本鼎に関係する版画、洋画、農民美術(木彫)を学ぶ講座です。初心者を中心に募集しますので、未経験者も基礎から学ぶことができます。

●受講期間 4～12月(8月は除く)の毎月2回(全16回)

●時間 半日(午前9時～正午、または午後1時～4時)

●場所 山本鼎記念館1階講習室

●募集講座と対象 洋画A教室(初心者)、洋画B教室(経験3年くらいまで)、木彫A教室(初心者)、木彫B教室(経験3年くらいまで)、版画教室(初心者と経験3年くらいまでの5クラス)。

●受講料 4000円(16回分、受講料は開講日当日徴収、道具代・材料代は別途)

●定員 各講座20名(先着順)

●申し込み 3月20日(金)～26日(木)に電話で記念館へ(25日は休館)。

●山本鼎記念館 TEL22・2693

障がい者芸術・文化講座 カラーサンド出張講座

観葉植物をカラフルな砂で植え、楽しみながらお好みのインテリアを作りませんか。

●日時 3月28日(土)午前10時～11時

●場所 丸子ふれあいステーション

●対象 市内在住または通学・通勤

の障がい者とその家族

●定員 25名程度

●参加費 無料

●申し込み 3月13日(金)までに電話で丸子健康福祉課へ。

●丸子健康福祉課 TEL42・1118

上田萬画大学2009 春休み萬画セミナー

マンガを描きたい、アニメを作りたい方の参加をお待ちしています。

●日時 3月20日(金)～22日(日)・24日(火)午前10時～午後5時

●場所 マルチメディア情報センター(希望者には、別所線大学前駅から会場への送迎あり)。

●対象 小学校高学年～高校生

●コース/定員/内容(指導者)

・デジタルマンガコース/定員20名
/プロのマンガ家の指導で、カラーとびら1ページ+本文数ページの静止画デジタルマンガを作ります(指導/志賀公江氏、関曉子氏)

・デジタルアニメコース/定員10名

・プロのアニメクリエイターの指導で、10～20秒間のデジタルアニメーションを作ります(指導/作楽クリエイト㈱)

●参加費 5000円

●申し込み 郵便またはFAX(39・1010)で「希望のコース、氏名、年齢、性別、住所、電話番号、学校名、学年、パソコン経験

年数、萬画大学でやってみたいこと、保護者氏名と押印」を明記のうえマルチメディア情報センター(〒386-1121下之郷812-1)へ。

●応募締切 3月15日(日)必着(応募者多数の場合は抽選)

●マルチメディア情報センター TEL39・1000

最新の機能で デジタルデータ活用

アナログ→デジタル変換講座の第6回目。パソコンに取り込んだ思い出の写真やビデオ映像を、インターネットの機能を使って公開する方法などを紹介します。

●日時 3月14日(土)午後1時～4時30分

●場所 マルチメディア情報センター

●定員 16名

●対象 キーボード・マウス操作ができる方

●料金 2000円

●申し込み 前日までに電話でマルチメディア情報センターへ。

●マルチメディア情報センター TEL39・1000

楽しく体力づくり(春期) 教室参加者募集

●日時 4月13日～7月13日の午後

7時30分～9時(各月曜日・全12回)

●場所 上田城跡公園体育館

●対象 市内在住・在勤の方(学生を除く)

●定員 先着30名

●参加費 2000円(教室初日に集金)

●申し込み 3月9日(月)～4月3日(金)に直接、体育課または上田城跡公園体育館、自然運動公園体育館、丸子総合体育館、真田・武石地域教育事務所体育担当へ。

●市体育課 TEL23・6372

近代日本文学の変遷

●受講日 4月11日、5月9日、6月13日、7月11日、8月22日、9月12日、10月10日、11月14日の午後1時～3時(土曜日・全8回)

●場所 上田駅前ビル・パレオ2階会議室

●内容 作品を手掛りにして明治から大正への文学の推移をたどりま

す。

●教材 島崎藤村「藁草履」、永井荷風「花火」、谷崎潤一郎「刺青」、有島武郎「小ざき者へ」

●講師 相馬正一氏(岐阜女子大名誉教授)

●参加費 7000円(資料代含む) 第1回目の講座でお支払いください。

- 定員 先着40名
- 申し込み 3月16日(月)以降に電話で上田情報ライブラリーへ。
- 上田情報ライブラリー
TEL 29・0210

ナイターテニス (前期)教室

- 日程 4月21日～6月16日の午後7時～9時(各火曜日・全8回)
- 場所 古戦場公園テニスコート
- 対象 市内在住・在勤の方(学生を除く)
- 定員 先着60名
- 参加費 6000円(教室初日に集金)
- 申し込み 3月9日(月)～4月10日(金)に直接、体育課または上田城跡公園体育館、自然運動公園体育館、丸子総合体育館、真田・武石地域教育事務所体育担当へ。
- 市体育課 TEL 23・6372

春休みエコライフ講座

- わずかな努力でできる、未来へ向けた地球環境を守るための勉強と楽しいサイクリング作りを体験してみませんか。上田クリーンセンターの見学も行います。
- 日時 3月23日(月)午前9時30分～午後3時(上野が丘公民館正面玄関前集合)

- 場所 上田クリーンセンター・エコハウス
- 対象 小中学生
- 定員 先着20名
- 参加費 100円(保険代)
- 持ち物 昼食、筆記用具、不用ハンカチ
- 申し込み 3月16日(月)までに電話で上野が丘公民館へ。
- 上野が丘公民館
TEL 24・0659

種から育てる 花づくり講習会

- 日時 3月26日(木)午前9時30分～11時30分
- 場所 上田市民会館2階会議室
- 講師 武田正男氏(上田市農業バイオセンター所長)
- 内容 春に種まきする花の、上田の気候に適した育て方や土づくり
- 申し込み 3月24日(火)までに電話で公園緑地課へ。
- 公園緑地課 TEL 23・5134

第10回糖尿病患者会 みどり会

- 日時 3月14日(土)午前11時～午後3時30分(10時30分～血糖測定)
- 場所 長野病院
- 内容 糖尿病でも満足できる料理(食事会)、ノルディックウォーキングのすすめ

- 対象 みどり会会員、糖尿病及び糖尿病境界型の方とその家族
- 参加費 みどり会非会員500円(食料費)
- 定員 先着30名
- 申し込み 3月10日(火)までに電話で長野病院へ。
- 長野病院 TEL 22・1890

スポーツダンス 初心者教室(前期)

- 日程 4月8日～7月1日午後7時～9時(各水曜日・全11回)
- 場所 上田城跡公園第二体育館
- 内容 社交ダンス
- 定員 60名
- 参加費 3000円(教室初日に集金)
- 申し込み 3月31日(金)までに直接体育課へ。
- 上田市スポーツダンス協会事務局(五味) TEL 27・8574

長野病院 第37回市民公開講座

- 日時 3月21日(土)午後1時30分～2時30分
- 場所 長野病院3階講堂
- 演題 頭痛の話
- 申し込み 不要(参加費無料、参加者の駐車料無料)
- 長野病院 TEL 22・1890

募集

市民農園利用者募集

市内に点在する、市民農園の新規利用者を募集します。詳しくは、農政課までお問い合わせください。応募多数の場合は、抽選となります。

募集区画

地区	所在	区画数
岡、室賀	ひばりヶ丘団地南側	4
常磐城	上田警察署付近	6
諏訪形	浄水場付近	5
上田原1	南小学校付近	2
上田原2	川辺町公園付近	1
下之条	下之条公民館付近	1
塩尻	上田大橋西側堤防付近	1
岩門	岩門公民館北側	3
新田	染谷高校付近	2
神川、黒坪	国分黒坪公園付近	3
住吉	千曲荘病院北側	1
古安曾	主要地方道別所丸子線尻無橋付近	1

- 利用料 1区画(約100㎡)年間5000円
- 申し込み 3月19日(木)までに農政課へ。
- 抽選会 3月27日(金)午後6時から農政課窓口にて。
- 市農政課 TEL 23・5122

千曲寮 平成21年度入寮生募集

- 住所 東京都三鷹市下連雀6-6-30
- 募集人員 10名(予定)
- 応募資格 次の入寮資格に該当する、大学・大学院などに入学または入学予定の男子。
- 長野県出身者、県関係者の学生。
- 心身ともに健康で、寮の行事への参加など共同生活に適応できる方。
- 独立した生計を営み、寮費などの諸経費を負担できる保証人2名(1名は父母または保護者)を有する方。

上田市ことぶき大学 新入生募集

- 修了年数 4年(毎月1回)

●申込手続

入寮願書(所定様式)に保証人と保護者の氏名、住所、職業を記入して提出(入寮願書はホームページからダウンロードするか請求してください)。

●選考日/場所

3月7日(日)/JA長野ビル(長野市)、3月8日(日)/小諸市民会館、3月15日(日)/千曲寮(先着順面接。父兄の代理面接可。時間はいずれも午後1時~)

TEL 042・246・0726

●場所 中央公民館、上田創造館

●学習内容 自然、文学、歴史などの一般教養とクラブ別に分かれての学習。

●入学資格

市内在住の60歳以上の方(ことぶき大学卒業生、上田市高齢者学園と長野県シニア大学(旧老人大学)在籍者及び入学予定者は除く)。

●募集人数

中央公民館校50名、上田創造館校30名(定員を超える場合は抽選。なお、抽選にもれた方で22年度入学を希望する方は、優先して入学できるよう配慮します)。

●受講料 1000円(ただし、クラブ活動の費用、宿泊研修の費用)

募集

映画「ゼロの焦点」 エキストラ大募集!

2009年秋公開予定の松本清張生誕100年記念作品・映画「ゼロの焦点」のクライマックスシーンの撮影にエキストラで出演しませんか。

- 撮影期間 3月28日(土)~30日(月)の3日間
- 撮影時間 午前6時~夜まで(撮影日によって異なります)。
- 撮影場所 市内
- 募集要項 撮影期間中の全日とも、1日男女計200名
※交通費・出演費などはお支払いできませんが、参加者には「ゼロの焦点」オリジナル記念品を用意します。
※時代設定の都合上、茶髪、男性の長髪はご遠慮ください。
- 応募方法 氏名、年齢、性別、連絡先、参加希望日を明記のうえ、zero0_fc@yahoo.co.jp (『ゼロの焦点』エキストラ担当)までお申し込みください。
個人情報保護法に基づき、目的以外の使用は一切しません。

映画「ゼロの焦点」全国東宝系ロードショー

- ◇出演 広末涼子、中谷美紀、木村多江、西島秀俊、
鹿賀丈史、ほか
- ◇監督 犬童一心



● 信州上田フィルムコミッション TEL23・5408

非常勤職員を募集します

- 職務内容 多文化共生事業と外国籍市民支援に関する業務全般及び支援団体間のコーディネート業務。
- 採用人数 1名
- 就業期間 4月1日~22年3月31日までの間で雇用の必要な期間
- 申し込み 3月16日(月)までに履歴書とレポートを添えて市民課へ提出(書類選考後、面接を実施)。詳細は上田市ホームページ、または市民課へお問い合わせください。

● 市民課 TEL22・4100
(内線1308)

青年国際交流事業の 参加者募集

内閣府では、将来を担う国際感覚豊かな青年を育成するため、様々な国際交流事業を実施しています。

は、別途自己負担)

- 申し込み 3月18日(水)午前9時30分~10時に、本人が直接中央公民館へお越しください。
- 抽選会場 中央公民館(創造館校希望者も同じ)

● 中央公民館校希望者/中央公民館 TEL22・0760
創造館校希望者/城南公民館 TEL27・7618

「ののさまに見守られ、 すくすく育つ子どもたち」

昭和6年、芳泉寺(常磐城3)の境内で春と秋の農繁期に子どもたちを預かるようになったのが、季節託児所「慈袍園」の始まりです。戦時中は疎開児童の受け入れのため休園になっていましたが、昭和25年に通年保育所として再開することになりました。その後、昭和46年に法人変更に、名前も慈袍園から上田西保育園、現在の歓喜園へと変化してきました。園名の「歓喜園」は、「お新様(おんさま)が生まれた庭園＝ルンビニー(サンスクリット語)」を日本語に訳したものが語源となっています。

しかし、いつの時代にも変わらないのは、慈しみの心で子どもたちを温かく受け入れ、親切でていねいな保育と心がける保育士たちの心と子どもたちの笑顔です。

このほど、園舎も新しくなり、床暖房の快適な空間でのびのびと遊ぶ冬の子どもたちの姿を見ることは、現代の様々な環境や衣・食・住についてもう一度考え、次代を生



新園舎、朝の風景

き抜いて行く子どもたちの力がより高まるように見直す良い機会になりました。

子どもたちは毎日多くの体験をしています。四季折々の中で、見て、聞いて、味わい、感じ、新しい発見に目を丸くしたり、自発的に、時には教えてもらう中で、失敗と成功を繰り返しながら成長しています。

園の目標は、心の育ちを大切に考えた「げんきで、すなおで、がんばる子」です。

好きなコーナーを選んで、ただいま遊びに没頭中!!



現在、平成21年度の「国際青年育成交流(9月)」「日本・中国青年親善交流(9月)」「日本・韓国青年親善交流(9月)」「青年社会活動コアリーダー育成プログラム(11月)」「世界青年の船(平成22年1～3月)」「東南アジア青年の船(10～12月)」事業の参加青年を募集しています。

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付国際第1担当
TEL 03・3581・1181

上田市ホームページ バナー広告を募集

上田市公式ホームページのトップページにバナー広告を掲載しませんか。自身のホームページにリンクできるのもので広告の内容にも幅が出ます。

掲載の可否も含め、詳しくは秘書課までお問い合わせください。
市秘書課 TEL 23・5149

あたたかい心

- ご寄付いただいた皆様、ありがとうございます(1月分)。
- ◇塩崎利正様 もみ米240kg (30kg×8袋)
／市内社会福祉施設へ
 - ◇内海宏光様 現金5,000円／ふるさと寄附金として
 - ◇青松英男様 現金100万円／ふるさと寄附金として
 - ◇松野昭平様 紙おむつ及び児童用衣類／乳児院入所児童のために
 - ◇秋山雅彦様 現金15万円／ふるさと寄附金として
 - ◇黒澤一義様 現金1万円／ふるさと寄附金として

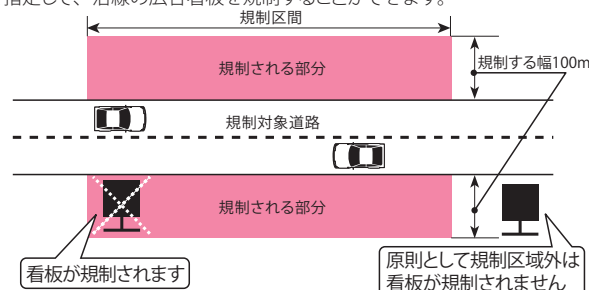
屋外広告物規制地域の指定を検討しています

住吉南交差点〜第一中学校〜国分トンネル



屋外広告物条例とは

「長野県屋外広告物条例」は、看板類の乱立を防ぎ、美しい県土の美観を守るために制定され、上田市も事務の一部を委譲されています。この条例では、道路などから見える景観を美しく保つため、道路等の区間を指定して、沿線の広告看板を規制することができます。



なぜ看板類の規制を検討するのか

今回規制を検討している区間は、周囲の山々の眺めと、沿道の落ち着いた環境が地域の大切な財産であり、今後もこの美しい沿道景観を守っていく必要があるからです。

規制地域に指定されると

沿道の店舗や事業所などで看板類を設置する際、次のように制限されます。

(1)「禁止地域」の場合

合計面積を10㎡以内に収める必要があります。また、貸し看板（＝野立て看板・電柱広告など）は原則として設置できません。

(2)「許可地域」の場合

合計面積が15㎡を超える看板類は設置許可の手続きが必要になります。また、貸し看板は原則としてすべて許可手続きが必要になります。

指定の予定時期は

平成21年6月ごろを予定しています。

ご意見をお寄せください

この件に関するご意見は3月30日(月)までに、郵便(〒386-8601 大手1-11-16)、FAX(23-8247)または、メール(tosikei@city.ueda.nagano.jp)で都市計画課へお寄せください。

詳しくは、上田市ホームページ(<http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ht/tosikei/index.html>)を閲覧ください。

美しい眺めは私たちの財産

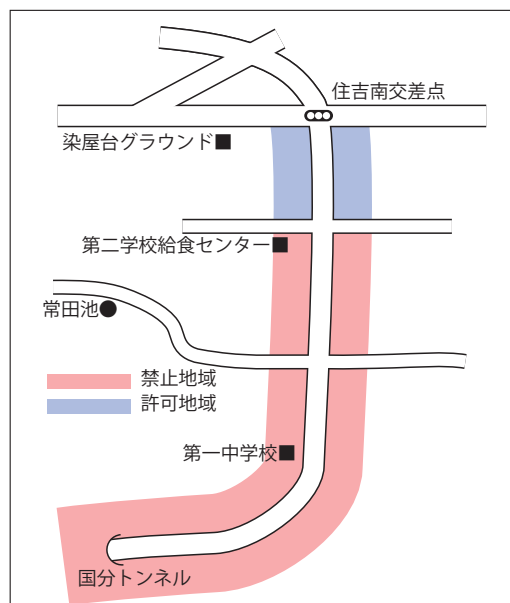
新しく開通した道路沿いでは、のどかな水田地帯や美しい緑の山並みを眺めることができます。こうした大切な沿道の景観を看板類の乱立から守るため、上田市内は「長野県屋外広告物条例」により、主要な道路で看板類の設置が規制されています。

屋外広告物の規制を検討している区間

市では、3月末に開通予定の国道18号

上田バイパスと、これに接続する市道国分小岩門線・市道川辺町国分線の道路両側各100m以内を「屋外広告物許可地域」(住吉南交差点〜第二学校給食センター付近)と「屋外広告物禁止地域」(第二学校給食センター付近〜第一中学校前・国分トンネル)に指定することを検討しています。

検討にあたっては、沿道関係者への説明会のほか、広く市民の皆さんのご意見をいただき、長野県屋外広告物条例に基づく規制地域に指定するよう県へ提案していく予定です。



出火原因 1 位は電気機器！ 平成20年上田市の火災状況

問 市消防本部予防課 TEL26・0029

上田市内の平成20年中の出火件数は51件で、前年の64件と比べると13件減少しました。火災種別ごとでは、建物火災は42件、林野火災は2件、車両火災は4件、枯れ草が燃えるなどのその他火災は3件でした。しかし、損害額は3億1,810万1,000円で、前年の6,002万9,000円から2億5,807万2,000円増えました。

●出火の8割強は建物火災

出火51件のうち42件が、建物火災でした。そのうち、住宅火災(共同住宅・併用住宅含む)は28件で、住宅以外に工場・作業場が4件、物置・倉庫が4件、店舗が1件、そのほか5件となっています。

●空気が乾燥する春・冬に多発

出火件数を四季別にみると、春季(3～5月)は15件、夏季(6～8月)は9件、秋季(9～11月)は12件、冬季(12～2月)は15件となっています。春と冬で総出火件数の約6割を占めており、空気が乾燥する時期に多く発生しています。

●発生の時間帯の多くは昼前後

2時間ごとの火災発生状況を見ると、正午～午後2時が10件で最も多く、次いで午後6時～8時が8件、午前10時～正午が5件と、昼の前後の時間帯、食事の用意などで火を使

う時間帯に多く発生しています。

●出火率は比較的低い方

出火率(人口1万人当たりの出火件数)は3・18となっており、前年と比べ、0・79ポイント減少しました。平成19年中の出火率は、全国4・30、長野県4・69、上田市3・97となっており、全国・県と比較して低くなっています。

●死者数は残念ながら増加

火災による死者数は4人で、前年と比べ2人増えました。内訳は建物火災で3人、その他火災で1人でした。負傷者は5人で、前年の10人に比べ5人減少しました。主な原因は、初期消火中や避難する際の火傷でした。

●出火原因の多くは電気機器・配線

出火原因別では、「電気機器」が7件で最も多く、次に「たき火」と「電灯・電話等の配線」が各5件、「こんろ」が4件の順になっています。「たき火」が前年トップの6件から3件減りましたが、電気機器や電気配線による火災が大幅に増加しました。特に、古い電気製品からの出火が目立ちました。「たき火」は、前年と比べ1件減りましたが、毎年上位を占めています。「こんろ」は消し忘れによるものが大半です。

3月1日(日)～7日(土)は春の火災予防運動

「火のしまつ 君がしなくて だれ 誰がする」

空気が乾燥し、火災が発生しやすい気候となる時季を迎えます。次のことに注意して火災を起こさないよう心がけましょう。

●火の用心「七つのポイント」

- ①家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ②寝たばこやたばこの投げ捨てはしない。
- ③天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- ④風の強いときは、たき火をしない。
- ⑤子どもには、マッチやライターで遊ばせない。
- ⑥電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- ⑦ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

●住宅防火「いのちを守る四つの対策」

- ①逃げ遅れを防ぐために、「住宅用火災警報器(消防法により設置が義務付けられました。既存住宅は5月31日までに設置)」を設置する。
- ②寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、「防炎品」を使用する。
- ③火災を小さいうちに消すために、「住宅用消火器」などを設置する。
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、「隣近所の協力体制」をつくる。



児童書を中心に子どもたちへ読み聞かせをする「おはなし会」が毎月第3土曜日、丸子金子図書館で開催されています。「おはなし会」は、市内8団体の絵本読み聞かせのおはなしボランティアの皆さんが交代で開催しています。1月17日は雨宮ちよ子さんが担当

丸子金子図書館「おはなし会」開催

本を読むのは 楽しいな



で、明るく通る声の語りが子どもたちにも大変人気があり、親子約40人が集まりました。

丸子金子図書館は丸子中央小学校に隣接し、学校帰りの児童をはじめ大人にも利用されています。昭和41年の設立当初から児童書を数多く取りそろえ、現在は蔵書の4分の1以上が児童書で、親子連れにも好評です。「おはなし会」が開催される日の、子どもたちは、今日はどんなお話しなのか興味津々に集まっています。洋書や和書の3冊の絵本をテンポよく読んで後、手品を披露したり、雨宮さん手づくりの「絵だけの本」に物語を作りながら話したり、体を動かしながら歌ったりと、子どもたちの心を引きつけます。会場は笑い声と子どもたちの元気な声に包まれていました。「今日はどんな本を借りていこうか」。図書館では親子の会話も弾みます。

四つ葉

スケッチ



幸村街道会の豆まきでござる

さなだの郷に 春を呼ぶ



節分を前にした2月1日の日曜日、真田地域の商工業者20社でつくる「幸村街道会」により、一足早い豆まきが行われました。結成13年になる会は地域の活性化のためのイベントなどを行ってお



り、中でも恒例となっている豆まきの会場を、今回初めてゆきむら夢工房・新鮮市にして開催したものです。

寒空の下、豆まき開始を待つ人たちに新鮮市内のそば処から60人前の手打ちそばが提供されました。そしていよいよ、「福は〜内!」の掛け声とともに鎧兜や武将姿の会員と、一般から選ばれた年男・年女が豆をまき、集まった150人あまりの人々は手を高く上げてつかみます。一緒に景品引換券もまかれ、あちこちで歓声が上がりました。

会場では信州真田六文銭太鼓保存会による演奏が行われたり、熱々の幸村鍋が振る舞われ、小雪の舞う中、寒さを吹き飛ばす早春のイベントとしてにぎわいを見せました。

武石小学校でかるたとり大会

かるたを通して 伝わる伝統

郷里に伝わる行事や文化財、自然などをうたった「ふるさとかるた」は、昭和63年度に武石小学校の全校児童がふるさと学習で作ったものです。制作から20年経った今も子どもたちに愛され続けています。

1月22日、武石小学校で恒例の

かるたとり大会が行われました。大会は、1年生から6年生が入り混じった全20班で、取った枚数を競うというもの。各教室に2班ずつ入り、各班の同年同士で対戦しました。

「小原には金色の花福寿草」（唐沢小原の福寿草）「木を引いて七年目ごとの御柱」（子檀嶺神社の御柱）。校内放送で札が読まれると、どの教室も一斉に真剣勝負開始！恒例とあって子どもたちは、札も絵柄も覚えていた様子。「保育園でもやったよ」と1年生も慣れた手つきです。

大会が終わると、「札をとれてよかった」「みんなで協力してできてよかった」と笑顔で話していました。かるたを通して、伝統行事を知り、故郷を愛する心が育まれています。



春の訪れを感じる節分

七福神が おもてなし

「福分」は内、鬼は外。以前は節分の日の夕暮れに、こちらから聞こえてきた声。



市内有志が集まった「信州年中行事を守る会」では、神社や寺院で行われる節分とは違う、家族や職場での年中行事としての節分を見直してもらう目的で、2月2・3日に市内を回りました。企業や商店街、福祉施設など、行く先々で声高らかに福豆をまく同会の節分祭は、今年で第34回を数えます。

2月3日は早朝から、上田駅新幹線改札口で、福豆と蚕都のお菓子の振る舞いをしました。思いがけない出会いとプレゼントに、上田に降りた人々は笑顔で受け取っていました。

「恵比寿、大黒、目を覚ませえー」と陽気に唄い踊りながら、ドラを鳴らし、行き交う人の足を止める一行。午前11時からは海野町高市神社で、手作りの衣装に身を包んだ七福神らが、豆と一緒に商店街からの景品が当たるお菓子をまくと、「縁起がいいねえ」と喜ばれていました。



国選択 無形民俗文化財 戸沢のねじ行事 提供／戸沢自治会

真田町長の戸沢自治会では毎年2月8日に行われる馬ひきに、もちの代わりに米の粉で作った「ねじ」をわら馬に乗せて引き、道祖神に供えて、子どもの無病息災を祈願しています。ねじは道祖神の前で、それぞれの家から持ち寄ったものを交換し合いますが、全国的にも珍しいことから平成8年に国選択無形民俗文化財に指定され、例年この行事を撮影しようと多くのカメラマンでにぎわいます。この日は、この行事を広く知ってもらうため、戸沢公民館でねじづくり講習会とわら馬やねじなどを展示する文化祭を開きました。



四喜折々
しきおりおり

「四喜折々」は、市内の四季折々の様子や4地域からなる上田市の喜ばしい出来事を、市民の皆さんからの投稿や情報提供により紹介するコーナーです。

人の動き

(平成21年2月1日現在)

人口：160,387人 男：78,478人 女：81,909人 世帯数：61,813戸 外国人登録者数：5,180人 男：2,522人 女：2,658人